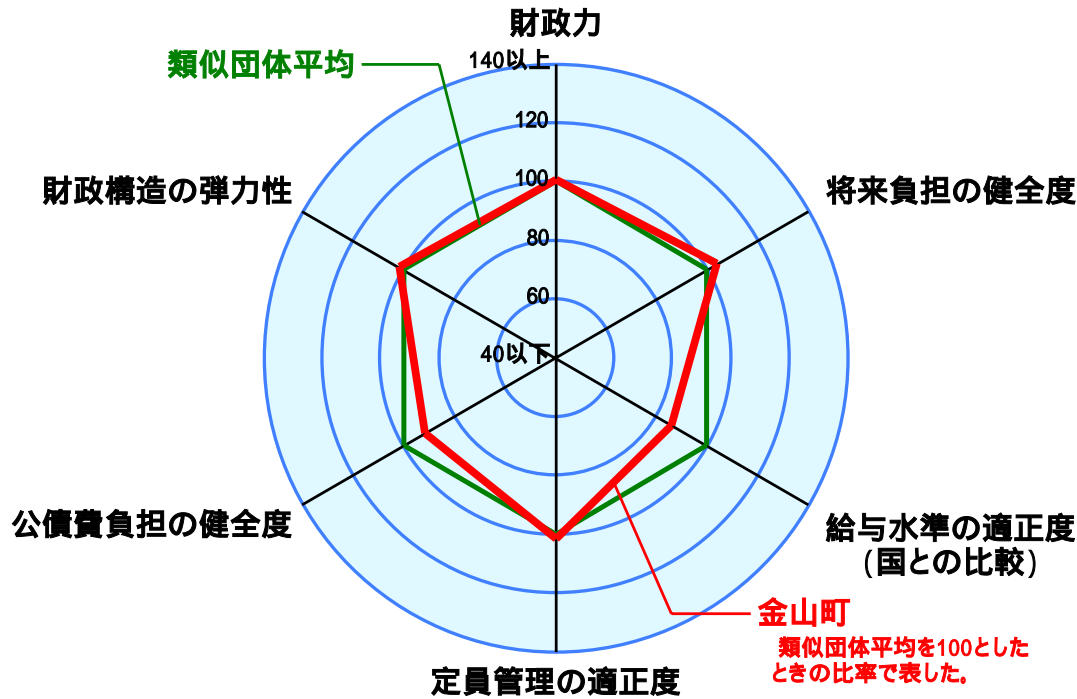
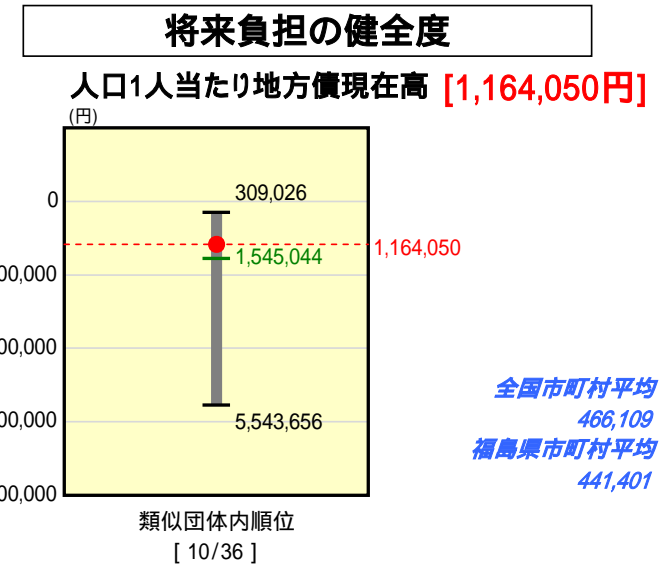
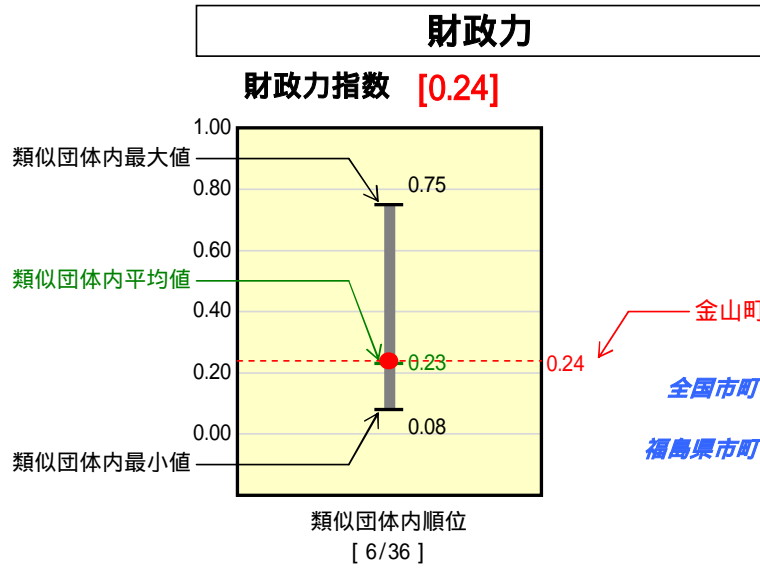


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 福島県 金山町

人口	2,989人(H17.3.31現在)
面積	293.97 km <sup>2</sup>
歳入総額	2,981,723千円
歳出総額	2,941,680千円
実質収支	36,501千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数**: 類似団体に比し数値は若干低い。今後町税を中心に歳入が減少し続ける(今後5年間でおおむね20%減少の見込み)ので、歳出も一層の削減が必要。(平成21年度までに公債費でおおむね130百万円、24.3%等を主とした歳出削減を図る)

**経常収支比率**: 平成12年度79.6から8.4ポイント悪化している。これは、大規模償却資産(水力発電施設等)の償却による固定資産税の減少、高齢化等による町税収入の減少、さらに地方交付税の削減(対12年度306百万円の減少)など一般財源の急激な減少に、歳出の削減が追いつかなかったため。今後5年間で公債費でおおむね130百万円、24.3%等を主とした歳出削減を図る。

**起債制限比率**: 類似団体より3.6ポイント数値が悪化。これは、国の景気浮揚策に応じた平成4年～13年までの一般公共事業債(主に農業農村事業等)、一般単独事業債(主に臨時地方道整備事業等)等により数値が上昇したもの。今後は投資的事業の抑制による起債発行の抑制等により、平成21年度までにおおむね12%程度まで数値の改善を図る。

**人口一人あたり地方債現在高**: 近年投資的事業を抑制してきたことにより類似団体より一人あたり現在高は若干低い。今後も起債発行の抑制を継続し、平成21年度までに一人あたり現在高をおおむね90万円以下としたい。

**ラスパイレス指数**: 水準としてはおおむね適正と考える。今後も給料の格付け等により適正化に努める。なお、経験年数の階層区分変動等により数値がかなり変動するため、単純な比較はできない。

**人口1,000人あたり職員数**: 類似団体より3.14人職員数は少ない。今後も類似団体を上回ることはないよう、定員の適正化に努める。ただし、自治体職員数が人口の規模に正比例するわけではない。

